

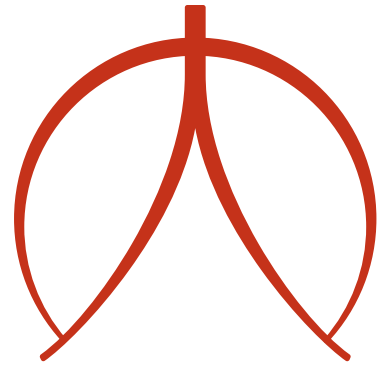
大谷大学広報

編集 大谷大学広報編集委員会

No.161

2005年4月1日

2005 春



新入生の諸君を迎えて

木村 宣彰

新生活スタート体験記

～桜咲く君へのエール～

谷大エリア散策

みなとや

写真でふりかえる大谷大学今昔

中賀茂橋と北大路橋

教員研究室一覧表

SQUARE

戦争と心理

蜂屋 良彦

冬扇

仏教、浄土真宗は、私にとって必要か。必要である。理由は、人生における最大の苦である死苦からの解放を教えてくれるから。死苦の根拠は、無知にあると仏教は喝破した。無知とは自己についてである。では、自己とは何ぞや。縁起的有限な存在である。従って無常にして無我なる存在である。それを浄土教は、無限無量の寿命と光明に生かされた存在であると教えた。さらに、縁起的、無知

なる存在なるがゆえに、さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもする私である、と。そんな私は、いかに生きるべきか。龍樹は次のように教えているようである。

縁起・空に死し、「仮」なる存在として 生きよ、と。

死苦から解放されると「仮」なる存在の現世がよみがえる。

人生恨むことなけれ 人知るなきを 幽谷深山

華自ずから紅なり 三浦梅園

生きろ 生きろ 自分を尽くして生きろ

散るときがきたら散り 枯れるときがきたら枯れるがよい

生きろ 生きろ 花のごとくに草のごとくに 木村無相

大谷大学はこのようなことを学ばせてもらえる道場でもある。

(一郷正道)

内観の自覚

学長 木^き村^{むら}宣^{せん}彰^{しょう} (教授・仏教学)

すっぱりと野山をおおっていた雪も、春になれば融けて大地を潤し、美しい花を咲かせてやがて豊かな実りをもたらします。この自然の営みは、どの時期をとっても意義深いものですが、春を迎えるとなんとなく心嬉しいのは、やはり光輝き、新たな生気を感じるからでしょうか。今年もまた全国各地からさまざまな経験を積み、大きな志を抱いた新入生を多く迎えることができ大変に喜んでおります。

これから大学に学ぶ若者は、21世紀の社会を正しく導く人類の希望の星となる方々です。どうか、叡智をもって物事を実行できる人として成長していただきたいと心から願っています。

私たちが生きている今日の社会は、近代の科学技術から多くの恩恵を受けています。技術の進展によって日々の生活は大変に便利で快適になりましたが、その一方では大量破壊兵器を産み出し、地球

温暖化などの解決困難な問題を引き起こしています。私たちはこの弊害を見過ごし、その恩恵のみを享受して生活しています。科学技術は功罪両面をもちますが、それを行使しているのは間違いなく「人」です。そうであれば、科学技術がどのような影響を与えるかということよりも、むしろ科学技術の価値観について考えてみなくてはならないでしょう。民主主義といえ、自由・民権・平等などの価値観によって支えられているように、近代の科学技術も独自の価値観を有しているはずですが、様々な見方があるでしょうが、科学技術のもつ価値観は、何よりも「効率」を重視し、何事も「数量」で測り、全てに「正答」があるということです。「効率」を求め、「数量」で物事を押し量るといった価値観に私たちもどっぷりと浸かっています。また、何事にも「正答」があるというのは入試をはじめ学校の試験で経験済みのことで

しょうが、この科学の「知」を至上とみなす価値観についてはよく考えてみなくてはなりません。

自然界・人間界には「不思議」なことが沢山あります。しかし科学的な「知」の立場では「不思議」を許しません。技術を駆使して実験や観察を繰り返して解明し、それを数値でもって明示するのです。私たちの「なぜ？」という問いに対しては、科学的な思考からすれば唯一の正解があり、それによってあらゆる事柄を矛盾も無く説明できるのが「合理」なのです。このような科学の価値観からすれば、世の中の「不思議」なことは不合理であるとして切り捨てられてしまいます。しかし私たちが合理と考えているような理は、ほとんど人間にとって都合のよい「理屈」に過ぎないことが多いのです。

青年としては当然の、「自己とは何か」「何のために生きるのか」「何のために学ぶのか」という「なぜ？」という問いが起こった



木村宣彰学長

時、科学の価値観によって、より効率よく、合理的な「正答」を得なくてはならないと考え、それが得られないなら白紙の解答用紙に向かうときのような不安と絶望に陥るでしょう。これでは、ただ一つの「正答」を求めて真面目に考えれば考えるほど「不安」に陥ることになります。科学技術の価値観によって全てを律しようとするれば、このようなことになります。

しかし、近代科学も万能ではなく、得手と不得手とがあることを知らねばなりません。科学技術は単純なものは得手であり、複雑なものは不得手なのです。現象が複雑になればなるほど解明が困難になるのです。何万年も先の天体の運行を正確に予測できるのに、明日の天気は正確に予想できない。それは、ある地域の明日の天気は、複雑な気候条件によって決定されるから、何年か先の日食ほどに正確に予測できないのです。このようなことは誰もが経験しているこ

とでしょう。

仏教が常に教えているように全体を分析して部分をいくら追求しても、その全体を知ることはできません。全体は部分より成りますが、部分を知れば全体が分かるということではないのです。科学的な知識では、人間を部分に分けて知ろうとしますが、到底生きた人間の全体を理解できるものではありません。

本学の初代学長であった清沢満之は「内観の自覚確立せざるが故に、外物は常に内観に対して優勢を占む」と教示されています。科学万能の現代社会に生きる私たちは、どうしても自己自身を問い、人間として生きることを問う内観の「眼」が必要なのです。このことを肝に銘じて日々の学びに邁進していただきたく思います。

C O N T E N T S

- p. 2…新入生の諸君を迎えて
- p. 4…新生活スタート体験記
～桜咲く君へのエール～
- p. 9…CAMPUS☆TOPICS
- p.18…「学生向け情報提供システム」
からのお知らせ
- p.19…国際交流トピックス
- p.21…Keiji☆Ban
- p.26…谷大エリア散策
- p.27…写真でふりかえる大谷大学今昔
- p.28…研究室だより／学会だより／
父母兄弟懇談会開催予定一覧
- p.29…大谷中学・大谷高等学校からの
お知らせ
九州大谷短期大学からの
お知らせ
- p.30…学生相談室から／出版物紹介
- p.31…TANIDAI FRONT
- p.34…2005年度 入学試験結果
- p.35…教員研究室一覧表
- p.36…SQUARE

表紙のことば

桜一色のキャンパスで
友に出逢い、肩を並べて歩き出す
あなたが咲くための
必要なものすべてが、
きっとあるはず

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたつたぬことの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2005年4月1日発行
発行 大谷大学企画室
編集 大谷大学広報編集委員会
〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学企画室内
電話 (075) 411-8115
FAX (075) 411-8149

新生活スタート体験記

～桜咲く君へのエール～

新生活は、誰にとっても期待と不安の入り混じったものです。新入生にとっては、学校も先生や友だちもすべての環境が一変します。新しい環境に慣れるまで時間はゆっくりと進みます。その環境に慣れてしまうと時間は速く進み出します。時間はあなたが環境に慣れるのを待ってくれます。これは時間の親切さでしょうか。うまく付き合うべき対象は人間だけではありません。光や風、木や花、川や山、そして時間などあなたの周囲のあらゆるものが、あなたに話しかけています。そっと耳をかたむけてみてはいかがでしょうか。



私色の一人暮らし

安藤 実花

京都が好き、そして一人暮らしがしたいという理由で大学は京都にしようと思っていた。そして、無事、大谷大学に合格し、楽しく家を選ぶことになった。選ぶ基準はまず、大学に近いこと、次に交通の便が良いこと、その2つを考えて、大学のすぐ近くでもある北大路に住むことにした。

一人暮らしを始めてすぐに自転車を買って、いろんなところを観光した。下鴨神社、植物園など、お寺や紅葉の綺麗な場所が京都には多いので、休日にはあちこち出掛けた。大学で仲良くなった友達に案内してもらって、地元の人しか知らないような小さな喫茶店でおいしいランチを食べたり、夏には、花火や大文字送り火が綺麗に見える穴場ス

ポットを教えてもらったりした。京都で生まれ育った友達に情報を教えてもらい積極的に行ってみると、とても楽しかった。

また祖母を京都に呼んで2人でのんびりと旅行することにしました。祖母は足が不自由であったため、ツアーにも参加できず、あまり旅行をしたことがなかった。祖母の足を気遣いながら、嵐山でお寺を見たり、ちょっと高価な和食を食べたり、トロッコ列車に乗ったり…。久しぶりに祖母と2人きりで過ごすことができ、私も嬉しかったが、それ以上に、祖母は足の痛みも気にせずとても喜んでいました。祖母にとっても、私にとってもいい思い出ができた。観光を楽しむことは、京都に住む特典ではないだろうか。

私が一人暮らしをするにあたって、1番心配だったのが食事である。実家では食事を作ることは少なく、簡単なものしか作ったことがなかった。そのため私の健康を心配した母が、たくさんのレシピをファイルにしてくれた。おかげで、いろいろな種類のものを楽しく、料理できた。しかし、飽き性でめんどくさがり屋の私は夏休みに入り、実家に帰ると「何もしないことがこんなに楽だったんだ!」と感じてしまい、それから京都に戻っても料理をあまりしなくなりました。そこで私が考えたのは飲食店でバイトをすることだった。まかないを食べようと北山のイタリアンレストランでバイトを始めることにした。バイトを続けていくうちに、パスタ

の作り方や簡単なデザートレシピを教えてもらい、時間がある時は家で作ってみる、そんな風に料理を作ることをだんだん楽しめるようになった。

実家から離れてみて初めて見えたことは多かった。掃除、洗濯を毎日続けることの大変さ、毎日の献立を考えて、いかに安

く買い物をするか。家で母がなにげなく毎日こなしていることのがすごさを実感した。一人暮らしは何でも自分でしなければ誰も手伝ってはくれない。でも、毎日きちんと家事を習慣付けられることが出来たら意外とうまくいくのだと思う。

初めは、実家が恋しくなるか

もしれないけれど自分なりの一人暮らしを楽しめるようになると思う。

（あんど う みか
2004年度
幼児教育科 第2学年）



寮生活のすゝめ

寺西 賢静

『寮』という言葉聞いて、あなたならどんなイメージを抱くだろうか。私の場合、最初に思い浮かんだのは「息苦しそう」というイメージだった。大谷大学への進学が決まり、親元を離れることになった私は、漠然とひとり暮らしに憧れていた。だが、待っていたのは寮（尾州寮）に入るという現実。その時私は「こんな所、1年で出てってやる！」と本気で考えていたものである。そんな私に、ある先輩はこんな言葉を残してくれた。「俺も最初はそう思っていた。だけど、1年後にはその考えも変わっているぞ！」と。当時の私には、到底信じられない発言だった。しかし、そんな偏見に満ちた考えが吹き飛ぶのには、1年どころか1ヶ月もあれば充

分だった。

とにかく毎日が退屈しないのだ。1人である時間はほとんどなく、気が付けば誰かの部屋で宴会が始まっていたり、真夜中に行き先不明のドライブに駆り出されるのは日常茶飯事。また、1年を通してイベントも多数企画されていた。年3回のコンパ、ソフトボールやボウリングなどのスポーツ大会、学園祭への出店など、そこらのサークル顔負けの内容である。私的なイベントを含めれば、それこそ毎日のようにどこかで何かが起こっていたと言っても過言ではない。また、履修科目を決める時や期末試験の時などは、寮の先輩ほど頼れる存在もなかった。学生の本分である勉強の面でもしっかりサポートしてくれるのは、

心強いかざりだった。

こうした機会の中で、同期の仲間や先輩方、寮母さんとの交流を深めていく内に、気が付けばすっかり寮に馴染んでいた自分がいた。当初の思惑はどこへやら、である。恐らく、私がこのような心境の変化を辿った理由は、寮特有の賑やかさや安心感、といった類のものだろう。

考えてみてほしい。ふと寂しさを感じた時、あるいは退屈で遊び相手がほしい時、隣の部屋のドアを叩けばそこに人がいるということが、どれだけ幸せなことか。人と人とのコミュニケーションの場が失われつつある現代社会の中で、これほど人との繋がりを実感できる場所も珍しいのではないだろうか。もちろん、寮という空間で共同生活

を営む以上、寮生同士の喧嘩や軋轢、物品の盗難、寮の規則の煩わしさなど、様々なトラブルも発生するだろう。しかし、これらの問題を解決しようとする時の寮生の結束感や協調性というのも、寮以外では中々味わうことのできないものである。私も寮での4年間で様々なトラブ

ルに巻き込まれたが、その度に人間として一步成長できたと思っている。

寮で経験した様々な体験。それは全て今の私に繋がっている。寮で築いた人間関係は、一生続いていくものだろう。寮で新生活を始める新入生の皆さんも、どうか団体生活の醍醐味を

存分に味わってもらいたい。きっとその経験は、貴重な体験としてあなたの大学生生活に彩りを加えてくれることだろう。

（てらにし けんじょう）
2004年度
社会学科 第4学年



新生活スタートっ!! ～寮生活の場合～

安崎 洋美

私は、昨年度から学寮の寮監をしている。寮に住み、寮内に関する事務や寮生の生活アドバイスをを行っている。4月になると新寮生が入寮して来る。彼女らにとって、寮こそ新生活がスタートする場である。しかし、昨年度は私にとっても、寮という新生活が始まったのであるにもかかわらず、「ずいぶん前から寮に住んでいます。」といった感じで寮生を指導していかなければならなかった。本当に、寮生活の初めの頃は「私が戸惑っているのに大丈夫なのだろうか?」と思うことが、跡を絶たなかった。

私は早く寮に慣れようと思い、しばらく寮に引きこもった。引きこもりという表現はあまり良いイメージではないかもしれないが、寮生活にいち早く慣れ

るには、引きこもって、寮の中をいろいろ見て回ったり、寮生とたくさん交流したりと、1日中、寮にすることが最善の策ではないかと考えたからである。その結果、寮内の設備などに詳しくなり、また寮生の様々な面をたくさん見る事ができた。しかし、引きこもって寮のことばかり詳しくなっても、思わぬところでハプニングは起こる。

まず入寮日、ほとんどの寮生が寮まで辿り着けず、道に迷うということがあった。確かに寮はわかりにくい場所にある。多くの寮生が、「道に迷いました」という電話をかけてきた。また入寮して2週間くらい経った頃、またもやハプニング。寮生も寮生活や大学へ通学することに慣れ、もう大丈夫やなあと感じていた矢先、一人の寮生が大

学から松ヶ崎の寮までの“自転車で約15分の”距離を、2時間以上かけて帰って来た。どうやら帰ろうとして寮に向かったのはいいが、気付けば銀閣寺まで行っていたという。その学生はかなりの方向音痴だったようだ。私は方向感覚が良い方であったし、道を探索することが好きだったので、寮生が道に迷うことなど考えもつかなかった。

そのことから私は、寮生の寮生活以外のところにも目を向ける必要があると思い、また寮生と交流することの大事さも実感した。それ以降、寮生との生活を有意義に過ごすことができたと思う。

寮での生活、出来事を中心に書いたが、寮以外の新生活にも同じことが言えると私は思う。新生活を送る場所や環境がどう

あれ、早くその場所、環境に慣れることが一番なのではないだろうか。そのためには様々な場所に出向き、いろいろ見聞きし、

見識を広げる。そして、時には引きこもったりと、たくさんのいろんな経験をするのが早く新生活を普段の生活にする最善

の方法だと思う。

(あんぞき ひろみ)
(自灯学寮 寮監)

留学生活の思い出

島 力崗



4月と言えば、花見と共に新しい学期のスタートを連想するのではないだろうか。希望と期待を胸に、各地から人々が集まってくる。入学手続、学費納入、部屋探し、…日本の春は実に忙しい。

7年前の春、私は日本へやって来た。アパート探しに奔走した末、1人の台湾出身のお坊さん(私たちは「師父」と呼んでいる)が、1年間だけ保証人になってくれることになった。異国の土地を踏んで6日目、ようやくアパートに入居することができた。かの「師父」から布団を1つ頂き、分厚い日本語辞典をタオルで巻いて枕にして、目覚まし時計の代わりにカラスの声で目を覚ました。記念すべき一人暮らしのスタートである。この6畳和室が私の主な生活空間となり、現在に至る。長く住むと、「夏熱冬寒」の部屋ではあるが、やはり愛着も出てきて、壁のヒビ、汚れまでしっかり頭に焼き付いている。家具も先輩

から貰うなどしてどんどん増え、今ではその上、参考本とPCパーツで部屋は埋め尽くされ、不用意に触ると雪崩のように落ちてくる。

そして、間もなく歓迎されないルームメイトが現れた。たっぷり栄養を摂って太った、ピカピカしたゴキブリ。しかも彼は用心深いので、ちょっとした物音でもどこかへ飛んでいく!生まれて初めてゴキブリが飛べるということを知り、それは私にとって新幹線よりもずっと刺激的だった。その日から罠を仕掛けたり、毒物を置いたり、熾烈な戦いぶりは、図らずも半年後「ゴキブリ退治大作戦」の題名で、学校の日本語コンテスト特別賞を頂くこととなった。不勉強で名が通った私にとって、夢にも思わなかった出来事となった。戦い自体、結局私は敗北し、不本意ながらも春から秋までの同居生活を黙認せざるを得なかった。しかしながら、これも一人暮らしならではの楽しみだと

思っているのは私だけであろうか?

通学は伏見からの長距離だが、鴨川に沿って走れば、ボートとしている鳥、散歩中のワンちゃんなど、毎日、必ず何か面白いものを発見できる。

論文が思うように書けないストレス発散のため、始めたダイビングも、知らず知らずの内にレスキューレベルにまで達し、最近茶道を介して焼き物への興味も持ち始め、弘法・天神の二大骨董市をよく見て回っている。

実家の部屋に母親が数多くの日本で生活する私の写真から1枚選んでくれた写真が、飾ってある。その写真には、何もない部屋の中「合格」の鉢巻を巻き正座をする私の姿が写っている。この写真を故郷で見ると、日本での生活が思い浮かび、すべて人生の大切な宝物だと感じる。

(ダオ リガン)
(博士後期課程 仏教文化専攻 第3学年)



異世界との出会い

並木 治

エールとしてはきっと、「この春、希望に満ち溢れて新生活をスタートさせておられる皆さんは…」といった調子が常識的でしょう。でもそうしたエールを「空々しい」と感じる人も少なくはないはずです。新生活スタートの時期は、ときとして、希望と現実の自分とのギャップから生まれる不安や無気力にとらわれる時期でもあるからです。でもそれは理想や希望が大きい故の挫折感なのですから、それを否定的にとらえる必要はありません。それをプラスのエネルギーに変えさえすればよいのではないのでしょうか。

大学とはさまざまな人たち、さまざまな異文化と出会える格好の場所です。それだけに、これまで経験しなかった戸惑いや失望もきっと多いはずです。ただ、出会いとは、決してそのまま受け入れることでも、拒否することも意味しません。むしろ違いをしっかりと認識したうえで、それを自分にとって有益な創造的刺激とすることです。無理に「とけ込む」必要はありません。もともと大学とは多様性が保証されている場所なので、違いと出会うことによって、それまでの自分を距離をお

いて見つめることができますし、新たな視点から、自分にとっての課題も見えてきます。それが結局は自分を大切にすることにもつながります。

P.J.パーマーという人が、大学教育について論じた本のなかで、大学教育の重要テーマとして「否定される不安の克服」をあげています。授業に積極的になれないとか、分厚い本を見ただけでそれを敬遠してしまったりというのは、単なる怠け心からというより、「それに耐えられないに違いない自分」が否定されかねないという恐れからきているとも言えましょう。「自分にそんな力などない」とか「関係ない」とか思いこむことは、出会いと成長のチャンスをシャットアウトすることに他なりません。

不安を乗り越え、しっかりと一歩踏み出すことからすべてが始まるのです。でも、不安を感じなければよいということではないのです。私自身、この種の不安に満ちた出会いこそ、今になってみると実に貴重なものだったことを痛感します。もともと自分の性格は消極的で、引っ込み思案な人間だったからです。よくも人様の前で話す教師

になどなったものだと思います。なんとかここまで来られたのは、もちろん、よき師やよき友との出会いに恵まれたからではありますが、それをも含め、異世界との出会いや衝突による学びの機会に多く恵まれたからだと思うのです。ちなみに、新入生の皆さんがこの4月から履修する「学びの発見」は、こうした、違いとの出会いや統合から生まれる「おもしろさ」を、学びのレベルで体験してもらおう授業です。大学での学びに不可欠な「アイディア」自体、一見つながらぬもの同士をつなげることから生まれるものなので、そのためにも、違いを受け入れ、違いを楽しむ「遊び」ないし「余裕」が大切です。

そして、それでもくじけそうになったり、道に迷ったと思ったら、一見とてもつながらぬと思える(?)先生にも思い切って話しかけてみてください。違いがあればあるだけ、きっと新鮮な発見があるはずです。大谷大学の先生たちは皆それを願っているのですから。

(なみき おさむ
教授 フランス文学・フランス文化)

人 事

館長などの交代

[博物館長]

礪波 護

(前博物館長 木場 明志)

[真宗総合研究所長]

沙加戸 弘

(兼真宗総合学術センター長)

(前真宗総合研究所長 兵藤 一夫)

[学寮長]

織田 顕祐

(前学寮長 一色 順心)

2005年4月1日付 (各通)

谷脇美知代 (教育研究支援部)

辻本 香 (教務部)

戸出 真美 (教育研究支援部)

西川 裕子 (教育研究支援部)

西中 久恵 (入学センター)

藤田 奈美 (入学センター)

古庄 縁 (教育研究支援部)

山田 哲也 (教育研究支援部)

山藤美恵子 (教育研究支援部)

[寮監]

藤間 哲祐 (貫練学寮)

2005年3月31日付 (各通)

依願退職

[教育職員]

米本 義孝 (教授・文学部)

中寫 容子 (助手・短期大学部)

[寮監]

照光河難子 (自灯学寮)

2005年3月31日付 (各通)

[任期制助手]

川端 泰幸

廣川 智貴

藤田 直子

藤元 雅文

本井 牧子

義盛 幸規

若見 理江

[事務系嘱託]

大橋 美香 (総務部)

草野 世理 (教育研究支援部)

笹島さく代 (教育研究支援部)

佐竹 由妃 (教務部)

段 敦子 (教育研究支援部)

長野 美穂 (企画室)

本多 由佳 (入学センター)

前田 千尋 (教育研究支援部)

松宮佐和子 (教育研究支援部)

山崎さつき (教育研究支援部)

2005年4月1日付 (各通)

退職・解任

定年退職

[教育職員]

神戸 和麿 (教授・文学部)

皇 紀夫 (教授・文学部)

ノーマン A. ワデル (教授・文学部)

塚田 秀雄 (特別任用教授・文学部)

間庭 充幸 (特別任用教授・文学部)

契約期間満了による退職

[任期制助手]

安藤 弥

片岡 宜行

仁木 夏実

藤谷 昌紀

本明 義樹

森 芳周

[事務系嘱託]

奥田 紀子 (総務部)

新規採用・任命

[教育職員]

皇 紀夫 (特別任用教授・文学部)

朴 一 功 (教授・文学部)

阿部 利洋 (専任講師・文学部)

喜多恵美子 (専任講師・文学部)

志藤 修史 (専任講師・文学部)

藤枝 真 (専任講師・文学部)

古川 哲史 (専任講師・文学部)

山内 清郎 (専任講師・短期大学部)

箕浦 暁雄 (専任講師・文学部)

新美 秀和 (任期制講師・文学部)

昇 格

[教授]

デイディエ ヴェステル (文学部)

禿 憲仁 (文学部)

桂華 淳祥 (文学部)

中森 一郎 (短期大学部)

[助教授]

芦津かおり (文学部)

水島 見一 (文学部)

吉田 孝夫 (文学部)

2005年4月1日付 (各通)

新任教職員の紹介

①略歴 ②専門分野(所属)



教授
(文学部)
朴 一 功
(ハク イル ゴン)

①1978年3月京都大学文学部(哲学専攻西洋哲学史)卒業。1985年3月京都大学大学院文学研究科(哲学専攻西洋哲学史)博士後期課程単位取得満期退学。2000年9月博士(文学)(京都大学)。元ケンブリッジ大学古典学部客員研究員。前甲南女子大学教授。

②西洋哲学



専任講師
(文学部)
阿部 利洋
(あべ としひろ)

①1996年3月京都大学文学部文化行動学専攻卒業。2001年3月京都大学大学院文学研究科(行動文化学専攻)博士後期課程単位取得退学。2004年3月博士(文学)(京都大学)。前京都学園大学非常勤講師。前佛教大学非常勤講師。元日本学術振興会特別研究員(PD)

②社会学



専任講師
(文学部)
喜多 恵美子
(きだ えみこ)

①1991年3月大阪大学人間科学部人間科学科(文化人類学専攻)卒業。1997年8月大韓民国慶熙大学校国際言語研究院韓国語課程修了。2000年9月大韓民国弘益大学校大学院美術史学科博士課程論文資格試験合格。2004年3月京都大学大学院人間・環境学研究科(創造行為論)博士課程単位認定退学。前京都大学大学院人間・環境学研究科研修員。前大谷女子大学非常勤講師。前関西学院大学非常勤講師。前佐賀大学非常勤講師。前大谷大学非常勤講師。

②韓国・朝鮮美術



専任講師
(文学部)
志藤 修史
(しどう しゅうし)

①1986年3月龍谷大学文学部社会学科(社会福祉学専攻)卒業。1991年3月龍谷大学文学研究科(社会福祉学専攻)修士課程修了。前社会福祉法人京都市社会福祉協議会地域福祉部副部長。前立命館大学非常勤講師。前佛教大学非常勤講師。前京都橘女子大学非常勤講師。

②社会福祉学



専任講師
(文学部)
藤枝 真
(ふじえだ しん)

①1996年3月早稲田大学第一文学部哲学科(哲学専修)卒業。2001年3月大谷大学大学院文学研究科(哲学専攻)博士後期課程満期退学。2004年3月博士(文学)(大谷大学)。前京都光華女子大学非常勤講師。前近畿大学非常勤講師。前大谷大学真宗総合研究所嘱託研究員。前大谷大学非常勤講師。前滋賀大学非常勤講師。前大阪教育大学非常勤講師。

②哲学・宗教学



専任講師
(文学部)
古川 哲史
(ふるかわ てつし)

①1988年3月広島大学総合科学部総合科学科(比較文化研究講座)卒業。1990年3月広島大学大学院社会科学部研究科修士課程修了。1992年6月オハイオ大学国際事情研究所大学院(アフリカ地域研究講座)修士課程修了。2001年3月京都大学大学院人間・環境学研究科(文化・地域環境学専攻)博士後期課程満期退学。元オハイオ大学言語学部講師・刑務所教育部局併任講師。前同志社女子大学嘱託講師。

②歴史学、比較文化・社会論



専任講師
(短期大学部)
山内 清郎
(やまうち せいらう)

①1995年3月京都大学教育学部教育学科卒業。2002年3月京都大学大学院教育学研究科(臨床教育学専攻)博士後期課程単位取得退学。元京都大学研修員。元栗東町教育相談補佐。前大谷大学非常勤講師。前立命館大学非常勤講師。前大阪経済法科大学非常勤講師。

②教育人間学・臨床教育学



専任講師
(文学部)
箕浦 暁雄
(みのうち あきお)

①1993年3月大谷大学文学部仏教学科(インド学分野)卒業。2000年3月大谷大学大学院文学研究科(仏教学専攻)博士後期課程満期退学。2003年3月博士(文学)(大谷大学)。前大谷大学真宗総合研究所大谷大学データベース研究嘱託研究員。元大谷大学任期制助手。前大谷大学非常勤講師。前大阪外国語大学非常勤講師。

②仏教学



任期制講師
(文学部)
新美 秀和
(にいみ ひでかず)

①1997年3月京都大学教育学部教育心理学科卒業。2004年3月甲南大学大学院人文科学研究科(応用社会学専攻)博士後期課程単位取得退学。2003年4月臨床心理士。前上野芝病院臨床心理士。前関西福祉大学非常勤講師。

②臨床心理学

① 略歴



任期制助手
川端 泰幸
(かわばた やすゆき)

①1998年3月大谷大学文学部史学科卒業。2003年3月大谷大学大学院(仏教文化専攻日本文化コース)博士後期課程単位取得満期退学。2005年3月博士(文学)(大谷大学)。2001年3月博物館学芸員資格。前大谷大学研修員。前大谷大学博物館調査員。熊野川町史編纂委員会特別委員。



任期制助手
(文学部)
廣川 智貴
(ひろかわ ともぎ)

①1997年3月大谷大学文学部文学科卒業。2001年4月ドイツ・ハイデルベルク大学ドイツ文学科留学。2005年3月京都大学大学院文学研究科(文献文化学専攻)博士課程を修了。2005年3月博士(文学)(京都大学)。元京都大学大学院文学研究科研修員前京都府立医科大学非常勤講師。前京都光華女子大学非常勤講師。



任期制助手
藤田 直子
(ふじた なおこ)

①1999年3月大谷大学文学部哲学科卒業。2004年3月大谷大学大学院文学研究科(社会学専攻)博士後期課程満期退学。前大谷大学研修員。



任期制助手
藤元 雅文
(ふじもと まさふみ)

①1996年3月東北大学文学部哲学科卒業。2005年3月大谷大学大学院文学研究科(真宗学専攻)博士後期課程満期退学。



任期制助手
本井 牧子
(もとい まきこ)

①1995年3月京都大学文学部(文学専攻国語学国文学専修)卒業。2001年3月京都大学大学院文学研究科(文献文化学専攻国語学国文学)博士後期課程研究指導認定・研究指導認定退学。2004年3月博士(文学)(京都大学)。元京都大学大学院研修員。前華頂短期大学非常勤講師。元日本学術振興会特別研究員。元京都学園大学非常勤講師。前大阪外国語大学非常勤講師。




任期制助手
義盛 幸規
(よしもり こうき)

①1996年3月大阪大学経済学部経営学科卒業。2005年3月大谷大学大学院文学研究科(真宗学専攻)博士後期課程満期退学。前大谷大学真宗総合研究所研究補助員。




任期制助手
若見 理江
(わかみ りえ)


①1997年3月岡山大学文学部哲学科卒業。2003年3月京都大学大学院文学研究科(思想文化学専攻宗教学専修)博士後期課程研究指導認定退学。日本宗教学会会員。




事務系嘱託
(総務部)
大橋 美香
(おおはし みか)




事務系嘱託
(教育研究支援部)
草野 世理
(くさの せり)




事務系嘱託
(教育研究支援部)
笹島 きく代
(ささじま きくよ)




事務系嘱託
(教務部)
佐竹 由妃
(さたけ ゆき)




事務系嘱託
(教育研究支援部)
段 敦子
(だん あつこ)




事務系嘱託
(企画室)
長野 美穂
(ながの みほ)




事務系嘱託
(入学センター)
本多 由佳
(ほんだ ゆか)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
前田 千尋
(まえだ ちひろ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
松宮 佐和子
(まつみや さとこ)



事務系嘱託
(教育研究支援部)
山崎 さつき
(やまさき さつき)

2005年度 学科主任一覧

[文学部]

真宗学科 水島 見一
仏教学科 兵藤 一夫
哲学科 関口 敏美
社会学科 寺林 脩

史学科 桂華 淳祥
文学科 村瀬 順子
国際文化学科 モニカ A. ベーテ
人情報学科 渡辺 啓真

[短期大学部]

仏教科 一色 順心
文化学科 鈴木 繁一
幼児教育科 藤本 芳則

留学生文化交流会開催

2月2日(水)、本学にて「2004年度第3回留学生文化交流会」を開催しました。当日は、外国人留学生6名を含む、21名の学生が参加しました。

第1部は、京仏具 株式会社小堀より取締役社長小堀賢一氏をは



金杯作成体験

じめ、7名の方にお越しいただき、京仏具の歴史について学んだ後、金杯作成体験に取り組みました。

お仏壇の解体は、特に参加者の関心を集めました。学生からは、「お仏壇の中に、屋根があることに驚いた」、「京の伝統工芸は、職人さんの力によってできていると思った。職人さんの技術を未来にも残していきたい」など、様々な感想を聞くことができました。

金杯作成体験では、金箔がやわらかく、繊細で取り扱いに悪戦苦闘しましたが、丁寧に箔のしわを伸ばし、金杯を作成することがで

きました。

第2部では、修了予定の留学生の送別懇親会をもちました。参加者全員が自己紹介をし、修了予定の留学生は、「本学において学び、有意義な時間を過ごせました」と話してくれました。また、会場内では、留学生の出身国の伝統的なあそび、ことばなどの話題が繰り広げられ、交流を深めることができました。

2005年度においても、留学生文化交流会の開催を予定しています。ぜひ、ご参加ください。

(学生課)

本学卒業生 鈴木恵子さん、デフリンピックにて銀メダル獲得！

本学卒業生の鈴木恵子さんが、2005年1月にオーストラリア・メルボルンで開かれたデフリンピック夏期大会に全日本女子バレーボールチーム キャプテンとして参加、エースを務めながらメンバー15人を束ね、同大会にて銀メダルを獲得しました。

デフリンピックとは国際ろう者スポーツ委員会が主催し、(夏期・冬季とも原則として)4年に1度開かれる聴覚障害者の世界大会のことで、今大会には66カ国、約3600名のアスリートが参加しました。女子バレーボールには6カ国が出場し、日本代表は予選リーグ・準決勝に勝った後、決勝でウ

クライナに惜しくも敗れました。

鈴木さんは大会までの日々を「仕事とバレーの両立に悩みましたが、できることからやろうと思ひ、会社から自宅まで走って帰ったり、階段をつま先で上がったりして、生活を工夫しました。最後には練習や合宿よりも試合で良いプレーができて嬉しかったです。前回のローマ大会が金メダルだったので、悔しい気持ちですが、応援してくださった皆さんにメダルを見せることができ、本当によかったです。」と話してくれました。そして今後の目標について「2009年の台湾大会では金メダルを取りたいです！」と力強く語ってくれ

ました。

また、このメダル獲得に貢献した鈴木さんに、京都府知事から府スポーツ賞優秀賞が、京都市長から市スポーツ栄誉賞が贈られました。

(企画室)



鈴木 恵子さん

幼児教育科第2学年藤井可奈さん、日独スポーツ少年団同時交流参加体験を講演



サッカー後の笑顔

平成16年度滋賀県スポーツ少年団育成会(母集団)研修大会が、2004年11月13日、滋賀県長浜市の勤労者福祉会館「臨湖」で開かれ、本学短期大学部幼児教育科第2学年の藤井可奈さんが体験発表の部で第31回日独スポーツ少年団同時交流(7月22日～8月8日)への

参加体験を講演しました。その様子は、朝日新聞滋賀版11月24日(水)付けにも掲載されました。

藤井さんは小学生の時、バレーボールを始めたことをきっかけに、スポーツ少年団に入団。現在、滋賀県スポーツ少年団リーダー会にて活動しています。今回、ドイ

ツのニーダーザクセン地方へ行き、子どもたちとサッカーや水泳、乗馬などスポーツを楽しみ、ドイツの地元青少年とスポーツについてディスカッションを行うなどスポーツへの理解を深めることができたそうです。

「ドイツの人々の生活にスポーツは切り離せません。スポーツクラブや施設も多く、スポーツが余暇活動の中心になり、人々のライフスタイルとなっています。しかし、環境を整えることももちろん大切ですが、スポーツ＝楽しいと

いう考えを広めていくことができればと私は思います」と生き生きとした表情で藤井さんは話してくれました。

(企画室)

北区民文化フェスティバルに落語研究会、吹奏楽団、混声合唱団出場！

1月29日(土)、1月30日(日)午前10時より、京都市北文化会館において、北区民文化フェスティバルが開催されました。このフェスティバルは、北区の団体が、日ごろの活動の成果を発表する場を提供し、文化的交流により、ふれあうことを目的に開催されたものです。当日、フェスティバルは幅広

い年齢層の大勢の観客で賑わい、様々な団体の熱演が繰り広げられました。

本学、落語研究会、吹奏楽団、混声合唱団が舞台発表一般の部に出場し、落語研究会の漫才では、2組のコンビが熱演を繰り広げ、会場は爆笑の渦に包まれました。吹奏楽団は「アイ・ゴット・リズ

ム」「ドラゴンクエスト(3)メドレー」の2曲を演奏し、混声合唱団は「アニーローリー」「鷗(かもめ)」「大谷大学歌」の3曲を熱唱しました。それぞれが、日々の研鑽の成果を発揮しました。

(企画室)



落語研究会の熱演



吹奏楽団の演奏



混声合唱団の熱唱

「親子で楽しむ子育て講座」を開催

12月22日(水)午前10時から、湖西キャンパスセミナーハウスにおいて、子育て支援ネットワーク“らんらんネットおおつ”「親子で楽しむ子育て講座」が開催され、本学からも将来、保育士、幼稚園教諭を目指している幼児教育科の5名の学生が参加しました。

この講座は天津市地域子育て支援センターとの共催により開催さ

れ、今回は、実践講座としてパネルシアターの製作・実演と、保健師の押栗泰代さんによるタッチセラピーに関する講演と実践体験が行なわれました。学生たちは受講された方々と楽しく交流しながら学んでいました。

また、講座終了後は、本学の児童文化研究会による人形劇が上演され、参加された方々に楽しんで

いただきました。

(教育研究支援課)



パネルシアター製作の様子

仰木の里公民館主催 子育て支援講座に児童文化研究会が出演

2月19日(土)午前10時より、大津市仰木の里市民センターにおいて、子育て支援講座の一環として、本学の児童文化研究会による人形劇・紙芝居・パネルシアターの公演が開催されました。

今回の公演は、仰木の里公民館



児童文化研究会 人形劇の様子

が、地域の子育て支援事業として行なっているイベントで、子供と一緒に遊び、感動しながら子育ての楽しみを知っていただく場として企画され、今年度、本学の天津市における地域交流事業に協力をいただいている児童文化研究会に出演依頼がありました。

児童文化研究会では、この企画主旨に沿うイベントとして、従来の人形劇や紙芝居に加え、親子で参加するチャレンジゲームを企画し、参加された約80家族の方々に大変楽しんでいただきました。

児童文化研究会 井上恵子さん

(クレヨン)、五島豊さん(ぶどう)、福岡駿介さん(たぬき)、水谷友紀さん(ゆきんこ)、柳井アカネさん(みけ)が参加。

「当日はあいにくの雨天ながら、たくさん子ども達がお父さん、お母さんと一緒に見に来てくれました。初めての公演先で不安もありましたが、子ども達だけでなく親御さんも積極的に参加して下さい、とても楽しい公演となりました。仰木の里学区の皆さん、どうもありがとうございました(会長 水谷)。」

(教育研究支援課)

人文情報学科公開トークイン

12月22日(水)午後4時より本学響流館メディアホールを会場に、人文情報学科主催公開トークインが「マルチメディアクリエイトの実験一人文情報学と現場の接点一」をテーマに開催されました。講師



トークインの様子

に、マルチメディアコンテンツのプロデューサーである、秋吉勝也氏(ECS代表)と伴宙氏(BAN FACTORY DESIGNING代表・大谷大学情報アドバイザー)をお迎えしました。第1部では、講師のお二人が手がけられたリゾートホテルのWebページ制作を素材にして、その企画段階から完成までの制作過程を丁寧に解説していただき、マルチメディアクリエイターに必要とされる企画力・編集力・技術力・運営力などの多面的な

力、なかでも人文学的な教養の重要性が指摘され、学生・教員に大きな刺激となりました。第2部の会場とのやり取りでは、予定の1時間を越えて活発な質疑応答、議論が行われました。人文情報学科の学生に加え、他大学の学生、教員、クリエイターの方など、約100名が参加され、人文情報学科の今後の教育・研究活動にとって、たいへん有意義な機会となりました。

(人文情報学科 渡辺 啓真)

大谷大学学術セミナー マイケル・パイ博士特別講演会が開催されました

去る、2月22日(火)と3月8日(火)に、大谷大学学術セミナーが開催されました。



マイケル・パイ博士

今回の学術セミナーでは、2004年10月より本学の客員教授としてお迎えしたマイケル・パイ博士を講師として、「グローバル社会と宗教学—宗教学の立場から社会不安を考える—」をメインテーマに、現代における宗教をめぐる焦眉の諸問題についてご講演いただきました。

セミナーは両日とも80名近くの来場者があり、パイ博士には、講

演終了後も会場からの熱心な質疑に対して、ひとつひとつ丁寧に回答をいただきました。

また、今回は講演の様子を、インターネット回線を使ってライブ配信を行ないました。ライブ配信では、国内の方だけでなく、アメリカやイギリス、オランダ、ドイツの方々からのアクセスがありました。

(教育研究支援課)

博士（文学）の学位を取得

このたび、本学OBの鈴木昭英さんが、学位論文を提出され、博士（文学）の学位を取得されました。

授与式は、2005年1月28日(金)本学にて行われました。

◎鈴木昭英

元・長岡市教育委員会参事兼長岡市立科学博物館長

「修験教団の形成と展開」

(教務部)



授与式風景

課程博士の学位を授与



本学ではこのたび、博士後期課程修了者（既修了者含む）3名に、博士（文学）の学位を授与しました。学位取得者は、岡本隆明（仏教文化）、川端泰幸（仏教文化）、加藤基樹（仏教文化）の各氏です。

(教務部)

井上摩紀専任講師が、博士（学術）の学位を取得



2005年3月、本学の井上摩紀専任講師が、奈良女子大学から、学位論文「身体表現を用いた性役割観の研究」により、博士（学術）の学位を取得されました。

天野勝重専任講師が、博士（文学）の学位を取得



2005年3月、本学の天野勝重専任講師が、神戸大学から、学位論文「明治中期文学の研究－斎藤緑雨を中心に－」により、博士（文学）学位を取得されました。

荒木祐衣さん、勤労学生表彰を受ける

去る3月4日(金)に京都学生支援会館において勤労学生援助会による勤労学生表彰・奨学金授与式が行われ、本学からは文学部第1学年の荒木祐衣さんが表彰を受けました。

勤労学生援助会は働きながら学ぶ学生の支援団体として、1966(昭和41)年に設立された団体で

す。

荒木さんは、実家を離れ下宿生活を送っており、学費と生活費を日本学生支援機構奨学金と本人のアルバイトの収入でまかなっています。さらには、課外活動にも積極的に取り組んでおり、箏曲部の一員として学業と課外活動を両立し、充実した学生生活を過ごして

います。このたびその努力が評価され表彰されました。



授与式風景

自衛消防隊平成17年「消防記念日」表彰式市長表彰を受ける

この度、大谷大学自衛消防隊の活動が評価され、2005年(平成17年)3月13日(日)京都会館第一ホールで行われました「消防記念日」表彰式におきまして自主防火事業所部門の北区代表として市長表彰を受けました。

大谷大学自衛消防隊は、本部長(学長)のもと事務職員を中心に70数名から組織されています。主な活動としては、防火管理委員会

の開催、9月の防災週間に北消防署からご指導いただき消防訓練を行っています。また、毎年9月中旬に行われる北区の自衛消防隊訓



練大会にも参加し、万一の火災の際に即対応できるよう屋内消火栓の操作方法訓練、防火活動に対する意識の高揚に努めています。



『文藝春秋』『AERA』誌コラム執筆者紹介

本学は各種の雑誌に様々な広告を掲載しています。そのいずれもが、大学教育研究の一端を紹介するものとなっており、読者の方々からも高い評価を得ています。

今年度も『文藝春秋』誌に毎月「生活の中の仏教用語」、『AERA』誌に隔週で「今という時間」というコラムを掲載中です。執筆担当の先生方は次のとおりです。

○生活の中の仏教用語(『文藝春秋』)

中川 皓三郎(真宗学)

浅見 直一郎(東洋史)

木村 宣彰(仏教学)

○今という時間(『AERA』)

木場 明志(日本近世近代宗教史)

西田 潤一(物理地質学)

松村 尚子(社会学)

加治 洋一(比較文化論、仏教学)

浦山 あゆみ(中国語学)

中森 一郎(体育学)

「学生向け情報提供システム」を使ってみよう！

- ◆システムについて◆ 「学生向け情報提供システム」は、学内の掲示板にてお知らせしている事項や問い合わせの多い事項などに即時対応するためにつくられたシステムです。自宅などのパソコンからインターネットを利用して、大学からの情報を受け取ることができます。
*本システムは科目履修生・聴講生も利用できます。



《大谷大学ホームページ トップページ》



《「学生向け情報提供システム」トップページ》

◆利用方法◆

大谷大学・大谷大学短期大学部ホームページ (<http://www.otani.ac.jp/>) から「学生向け情報提供システム」にログインしてください。(システムについてわからない時は、ログイン画面の【ブラウザの設定について】【よくある質問】を参照してください。)

◆ID・パスワードの発行について◆

新入生には「学生証」と同時に「学生向け情報提供システム ID通知書」を配付しています。「ID通知書」に記入されたIDおよびパスワードを入力してログインしてください。パスワードはログイン後、パスワード変更画面にて変更してください。なお、学内で利用しているWindowsログオンやメールのユーザー名・パスワードとは異なりますのでご注意ください。

◆パスワードの再発行について◆

利用に関してのパスワード再発行については、学生証を持参の上、至誠館内、教務部・学生課・進路就職センター窓口までお越しください。

◆サービス内容◆

- ・ 掲 示 板 …学生生活に必要な情報(授業・試験・奨学金・進路支援・連絡事項等)をカテゴリごとに配信します。
 《個人掲示板では、学生呼び出し・個人的な連絡事項等をお知らせします》
- ・ 授 業 情 報 …休講・補講・教室変更等の情報を時間割形式や一覧形式にて表示します。
- ・ 時間別教室状況 …教室ごとの使用状況を表示します。
- ・ 就 職 支 援 …求人検索ができます。また求人票PDFや企業データを閲覧することも可能です。
- ・ 携 帯 電 話 版 …休講情報・個人別時間割(休講表示有り)・個人掲示板を利用できます。

*SSL対応機種のみ *通信料については、個人負担

国際交流トピックス

一度は海外で学んでみませんか？

2005年度

国際交流科目〈海外研修〉のお知らせ

教務部

今年度の国際交流科目を次の通り開講します。履修希望者は『履修要項』『授業概要』を読んだうえで、4月のオリエンテーション期間に開催される〔国際交流科目（海外語学・文化研修）説明会〕に必ず出席し、予備登録をして下さい。履修希望者多数の場合は選考になります。なお、国際情勢によっては、皆さんの安全確保のため中止にすることや、現地事情により日程他を変更することもありますので、留意してください。

海外語学研修

短期中国語研修

中国東北師範大学（中国文化事情・実践中国語1）

大学は吉林省長春市にあり、夏は涼しく研修に快適な気候です。授業はクラスごとに平日の午前中、現地大学の先生により全て中国語で「会話」や、「閲読」、「文化紹介」を中心に実施する予定です。午後は基本的に自由行動ですが、太極拳講座やその他の課外活動のある日は、それに参加します。

3週間の中国語研修終了後は北京を訪れ、万里の長城、故宮博物館ほか、市内の見学研修を行います。

現地研修 8月1日(月)
～8月29日(月)予定
定員 30名
費用 28万円予定
滞在 大学寮、ホテル



餃子作り講座



太極拳の練習風景

短期英語研修

英国ノッティンガム・トレント大学（イギリス文化研究・実践英語）

ノッティンガムは、ロンドンから北へ約200キロのところにある緑豊かな地方都市です。午前中の授業では、「聴く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能を集中的に学習します。週3時間の午後の授業はドラマ、ビジネス英語、アカデミック・ライティング、コンピューター・ワークショップなどから好きなものを選んで受講します。週末にはケンブリッジなどへ

の小旅行も計画されています。

3週間の研修の後には、ロンドンに4泊し、自由行動で市内を観光します。

現地研修 8月5日(金)
～9月1日(木)予定
定員 25名
費用 45万円予定
滞在 ホームステイ、ホテル



キャンパスでの集合写真

海外文化研修

インド仏教遺跡研修 (インドの宗教と文化)

仏教を生み出したインドの大地に足を踏み入れ、2500年前に釈尊が悟り至った境地を思い巡らすことを目的とした研修です。釈尊生誕の地ルンビニー、悟りの地ブッダガヤー、初転法輪の地サルナート、涅槃の地クシーナガラという仏教の四大聖地をはじめ、祇園精舎、王舎城、ヴァイシャーリーなどの仏跡、さらに、ガンジス河のガートで知られるヒンドゥー教の聖地ベナレス、世界遺産タージ・マハル廟を擁するムガル帝国の古都アグラも訪れます。

現地研修	①班
	8月28日(日)～
	9月10日(土)予定
	②班
	8月30日(火)～
	9月12日(月)予定
定員	各班40名 (内科目等履修生2名、 単位互換生5名)
費用	29万円予定
滞在	ホテル



霊鷲山での勤行

ヨーロッパ文化研修<フランス> (ヨーロッパの宗教と文化 (フランス))

フランスの豊かな生活文化や地方の風景・歴史的建造物などにじかに触れ、具体的知識だけでなく内面的視野をも広げることを目的とした研修です。フランス研修は隔年に実施されているものですが、今回4回目の研修でも「旅して学ぶフランス生活文化」のテーマの元、パリのほか、これまで好評だった美しいアルザスやブルゴーニュなどを、比較的時間をかけてまわります。フランス語未習者も問題なく参加できます。

事前講義と現地でのうちとけた体験学習を通じ、フランス文化のみならず、さまざまな事柄をひろく柔軟に見直すきっかけとしてもらえたらと思います。

現地研修	8月28日(日)
	～9月10日(土)予定
定員	30名
費用	32万円予定
滞在	ホテル



エッフェル塔前での集合写真

盗難に注意

学年初めは何かと慌ただしく、ついうっかりとしてカバンなどを置いて席を離れることがありますか。

毎年、大切なカバンや貴重品の盗難にあうことがよく起こります。特に、食堂・図書館・教室など混雑する所では注意してくださ

い。自分の持ち物はしっかりと管理しましょう。万一、学内で盗難にあった場合、すみやかに学生課へ届けるとともに、キャッシュカード・クレジットカード・携帯電話などはすぐに取引停止の手続きを行い、警察へも届けてください。

また、大学近辺の路上で、自転車に乗っていて自転車の前かごからカバンを盗られるという引ったくり事件が多発しています。かごに防犯ネットを被せたり、カバンを前かごに固定するなどして防犯対策を心がけてください。

学内・通学中などにケガをしたら

本学の全学生は「学生教育研究災害傷害保険」に加入しています。この保険は、正課授業や課外活動中（試合や合宿を含む）および通学中に負傷し、定められた日数（正課授業で4日、通学中で7日、課外活動で14日）以上にわたり治療を要した場合に保険金が支払わ

れます。またキャンパス内での休憩時間中の事故や講義に行く途中に階段を踏み外して捻挫した場合、大学行事に参加していて負傷した場合なども対象となります。

この保険は事故発生から30日以内に大学から事故通知書類を提出

する必要があります。事故が発生した場合は、直ちに保健室へ届け出てください。また、授業中のケガは、授業担当教員に必ず報告してください。

詳しい内容のパンフレットは保健室に置いています。

定期健康診断の実施について

オリエンテーション期間中、4月7日(木)・8日(金)に定期健康診断を実施します。詳細については保健室掲示板、学生課掲示板および受診案内で確認し、指定された日時に必ず全員受診してください。

健康診断は受診するだけでなく、後のフォローが大切です。受診後、再検査が必要な人は保健室

および学生課の掲示板で呼び出しますので、すみやかに保健室に来て下さい。また、教育実習や諸資格取得希望者、就職活動をする学生は、活動時に「健康診断証明書」が必要となります。証明書は健康診断を受けないと発行できませんので必ず受診してください。

校医による健康相談

博綜館1階に保健室があります。保健室では保健師が常勤しています。また、校医による健康相談を毎週水曜日10:30～12:30、婦人科校医による健康相談を第2・第4木曜日12:00～14:00に行っています。気軽に相談に来て下さい。

学生相談室

博綜館1階の学生相談室では、在学生の悩みや不安の相談に応じています。学業に対する不安、人間関係にまつわる不安、将来の進路に関する不安などひとりで悩まずに、学生相談室のドアをノックしてください。学生相談室ではカウンセラーがあなたの来室を待っています。

利用の方法は直接来室するか、または直通電話（075-411-8121）を利用して下さい。なお、相談内容は厳密に守秘されます。

また、神経科校医による医療相談を行っています。他人の視線が気になる、イライラが続いている、拒食・過食を繰り返しているなどで困っている方は、毎月第2・第

4水曜日午後（1時～4時）に学生相談室に相談してください。

教 務 部

聴講登録について

文学部・短期大学部・大学院、全学年とも4月に前期・後期・集中・通年を含めて1年間の全科目を一括登録します。手続きの期日を確認し、聴講登録をしてください。詳細については『履修要項』を参照してください。

4 月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11 前期 授業開始	12	13	14	15	16
	17	18 *1	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

入学式、登録関係書類・履修単位通知書配布日 4月4日(月)
学生証を持参し、書類を受け取ってください。

オリエンテーション期間 4月4日(月)～9日(土)
各種の履修や諸課程に関する説明会が行われます。該当の説明会には必ず出席し、分からない点はこの期間中に確認してください。

抽選期間 4月4日(月)～6日(水)
一部の受講生数制限のある科目について抽選を実施します。希望する科目が該当するか確認をし、選択用紙を提出してください。

前期授業開始 4月11日(月)
各自時間割を作成し、第1回目の授業から出席してください。

***1**
聴講登録表提出期間 4月14日(木)～18日(月) (土・日を除く)
(受付時間…9:00～16:30 提出場所…至誠館1階教務部前)
上記の期間に聴講登録表を提出してください。
※提出後の追加・変更はできません。
※コンピュータ処理上、この提出期間を過ぎると登録ができなくなりますので注意してください。

5 月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2 臨時休業日	3	4	5	6 *2 *3	7
	8	9 *3	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28 補講日
	29	30	31				

***2**
聴講登録確認表配布日 5月6日(金)
(配布時間…10:00～16:30 配布場所…講堂棟1階ホワイエ)
1. 聴講登録確認表を受け取り、下記の点を確認してください。
① 登録しようとした科目が正しく登録されているか。
② 誤った科目を登録していないか。
③ 登録単位数制限オーバーになっていないか。
④ 卒業・進級等見込みが可能かどうか。
⑤ 履修条件に合わない科目を登録し、エラーコメントが出ているか。
2. その他、エラーコメントの出ないミス(科目番号やクラス違いなど)についても各自で確認してください。
3. 確認後、修正の必要がない場合は、各自、聴講登録確認表を1年間保管してください。

***3**
登録修正期間 5月6日(金)～9日(月) (土・日を除く)
(受付時間…10:00～16:30 受付場所…教務部)
1. 登録の修正が必要な場合は、この期間中に教務部へ申し出て手続きをしてください。(この期間を過ぎると修正はできません。)
2. 登録ミスそのままにしておくと、その科目の受講資格や定期試験の受験資格を失います。必ず修正してください。
3. 登録単位数制限オーバーのまま修正をしなかった場合、機械的に科目が選択され、超過分が削除されます。
4. 登録修正後の確認表の配布については、修正会場の掲示で日時等の詳細を確認してください。

2005年度 前期学生納付金（学費）の納入について

納入期限は4月20日(水)―締切日厳守―です。

前期学生納付金の納入期限は4月20日(水)〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に3月31日に大学より発送しています。

4月7日頃になっても振込依頼書が届かない場合、紛失、破損した場合には再発行いたしますので、財務課まで申し出てください。

事情により期限内納入が困難と予測される場合には、学生課にて学費延納の手続きを4月20日(水)までに行ってください。学費延納手続きには、「学費延納許可願（所定用紙）」および学費負担者の所得証明書（納税証明書・源泉徴収票等）が必要です。

後期学生納付金の納入期限は9

月30日(金)です。後期学生納付金の振込依頼書については、8月31日に大学より発送いたします。

なお、2005年度より学費などの取り扱いが次の通り変更となります。

1. 修業年限を超える学生に対する学費の減免について

○文学部 修業年限を超えて在学する者で、卒業に必要な単位が8単位以内の不足者は、授業料の5割を減額する。

○短期大学部 修業年限を超えて在学する者で、卒業に必要な単位が8単位以内の不足者は、授業料の5割を減額する。

○修士課程 修業年限を超えて在学する者で、修了に必要な単位が2単位以内の不足者、又は修士論文のみ不足者は、授業料の5割を減額する。

○博士後期課程 修業年限を超えて在学する者で、学位論文のみ不足者は、授業料の5割を減額する。

2. 休学者の在籍料について

全ての学部学科において、在籍料は年額120,000円（前期60,000円、後期60,000円）とする。

3. 学費延納者の納入期日の変更について

前期分割納入締切日

1 回目 6月15日

2 回目 7月31日

前期一括納入締切日

7月31日

後期分割納入締切日

1 回目 11月30日

2 回目 1月31日

後期一括納入締切日

1月31日

2005年度前期学生納付金一覧		学 費		その他の費用			合 計 額
		授 業 料	施 設 費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	
文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	591,000
大 学 院	修士・博士後期課程	240,000	60,000	1,000		15,000	316,000
短期大学部	仏教科・文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	幼児教育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000

図 書 館

(1) 図書館ガイダンスの開催について

4月から5月頃にかけて、図書館の利用方法を案内するガイダンスを開催します。

このガイダンスでは、パソコンを使った資料検索の方法や書庫の利用の仕方など、基本から分かりやすく説明します。

実施日時や詳しい内容については、図書館掲示板やホームページでお知らせします。

(2) 図書館2階閲覧室の洋書の再配架について

2階閲覧室の洋書の並べ替え作業を行いました。

これにより、仏教関係以外の全

ての図書が、NDC（日本十進分類法）によって配架されました。

今回の作業に伴い、図書の検索は容易になりましたが、以前と配架場所が変わったものも一部あります。ご注意ください。

進路就職センター

第1学年からのサービス紹介 ～キャリア形成を考える～

～資格取得を目指そう～

◎秘書技能検定対策講習

社会人となってから必要とされるビジネスマナーを、基本から応用まで幅広く学ぶ。

注：準1級は「ビジネスマナー講習の受講経験のある方」もしくは「秘書技能検定2級を取得している方」を対象とします。

*次回秘書技能検定試験は6月19日(日)実施されます(要別途申込)。

秘書技能検定対策講習(2級) 第1回

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
4月 15、18、22、25	17:50~20:00 (土曜日は 9:00~12:10)	70	5,000	学内書店にて購入	4/7~4/13 (~17:00)
5月 7、16、20、27、30					
6月 6、13、18					

秘書技能検定対策講習(準1級)

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
4月 28	17:50~20:00	10	8,000	学内書店にて購入	4/11~4/22 (~17:00)
5月 6、11、19、26					
6月 2、9、16、23、30					
7月 7、14					

◎TOEICレベルアップ講習 第1回

企業が注目する600点の取得を目標として、今回は上級レベル(600点)のヒアリングを中心とした対策講習を開講します。

〈受講コースの目安〉

○英検2級取得済み。○電話での会話ができる。

○英字新聞の第一面の記事が理解できる。

TOEICレベルアップ講習 第1回

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
5月 9、12、16、19 23、26、30	18:00~20:00	20	15,000	学内書店にて購入	4/11~4/22 (~17:00)
6月 2、6、9、13、16 20、23、27、30					
7月 4					

◎マイクロソフトオフィススペシャリスト

(Word・Excel) 対策講習 第1回

仕事をする上でもっとも使用されているWord・Excelについての講習です。また別途申込にてマイクロソフトオフィススペシャリスト検定試験も受験していただけます。

マイクロソフトオフィススペシャリスト対策講習 第1回

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
4月 19、26	16:10~19:20	30	5,000	学内書店にて購入	4/11~4/15 (~17:00)
5月 10、17、24、31					
6月 7、14、21、28					
7月 5、12					

～難関試験に早期から備えよう～

◎公務員受験特別講習 直前講座

公務員希望者を対象に、今年度採用試験直前の受験対策講習を開講します。

今回の講習は、一般知識・一般知能分野で大卒レベルから地方上級レベルの対策となります。受講の学年は問いません。

公務員受験特別講習

日程	時間	定員	受講料	テキスト代	受付期間
4月 21、26、28	17:50~19:20	50	5,000	受講料に含む	4/11~4/19 (~17:00)
5月 10、12、17、19 24、26、31					
6月 2、7、9、14、16					

※その他「表現カススキルアップ講習」なども実施しています。
「表現カススキルアップ講習」説明会:4月13日(水)
「初級シスアドミストレータ対策演習」
5月~10月の土曜日開講予定

●日程、時間、受講料等については予定です。実施要項や掲示等に注意してください。

教職支援室についてー4月より教職相談室は「教職支援室」に名称を変更しますー

教職希望の皆さんを、今までよりも多く教員として送り出すために「教職支援室」を開設いたします。真剣に教員になりたいと願っている皆さんのために具体的な支援を行い、今まで以上のサポートを提供します。しかし支援を受けるためには大事な条件があります。それは「教職支援室」に来ることです。止まっているだけではスタートできません。また、早すぎるということもありません。遠慮なく、今すぐ来室してください。

場所 至誠館2階 開室時間 13:30~17:30

谷大エリア散策

第19回 みなとやさん（食堂）

冬でも腕まくりをして配達に来られる姿を大学のどこかで見かけることも多いのでは。谷大ごひいきの北大路室町東南角の食堂「みなとや」さんのご主人・湊谷（みなとだに）正弘さんにお話を伺いました。



ご主人・湊谷 正弘さん

一お店はいつ頃からですか

昭和7年からです。私で3代目になります。祖父は石川県の出身で、湊川という川の近くには湊のつく姓が多いそうです。京都に出てきた祖父は市電の運転手をしていました。祖母がこの場所で食堂を開きまして、母、私と後を継ぎました。

一やはり学生客が多いですか

昔は向い側に立命館の中学・高校がありましたし、市電の車庫へも配達していました。今は関西電力の方や、北区役所、建設関係の方などがよく来られます。もちろん大谷大学の方々をはじめ、近くの下宿生さん、他に固定客の方もおられますね。



厨房が見える店内

一人気が高いメニューは何ですか

うちの特徴はどれでも量が多いことです。ごはん、おかずともに他所よりも多めにしています。学生さんに人気があるのは定食ものですね。ごはんとおつゆと野菜が一度に食べられるからね。学生街ですから、値段も安めに抑えていますよ。基本的には自分が食べておいしいと思える味にしています。

入って来られたお客さんを目見て、私の判断で、事務職風の方は薄いめの味に、工事関係者など肉体力労働の方には味付けを濃いめにしています。経験上、そういう好みになるようです。また、初めて来られたお客さんが「ちょっと味が濃かった」「もう少し量を減らしてほしい」などと言われましたら、それを覚えていて、次にその方が来られたときには必ずお好みに合わせられるようにしています。「少し甘めに」「ネギ抜きで」などのご注文にも応じていますよ。一人一人にこういう細かい対応ができるのが小さな店の利点かな、と思っています。

一大谷大学にはよく配達に来られていますね

大谷大学とのお取り引きはもう20～30年になります。当局室をはじめ、事務職員室、先生方の研究室や何かの会議の折など、ほぼ毎日配達に伺っていますよ。学生時代からずっと来て下さって、今は先生や理事になられている方がたくさんおられます。長いお付き合いをさせていただいて、ありがたく思っています。

一谷大で人気のあるメニューは

個人のお好みによりますね。ほとんど決まったものしか召し上がらない方も多いです。あの先生ならこのメニュー、というように。うどんでもそばでも必ずきつねの方、一方

でいろいろ食べてみたいという方もおられます。比較的人気が高いのは焼そば、冬なら鍋焼きですね。

一学生との交流について

アルバイトには大谷の方をはじめ、同志社、平安女学院などの学生さんに来てもらっていました。たいして卒業するまで来てくれましたよ。うちの子がまだ小さかった頃は、アルバイトの学生さんも一緒に宝ヶ池などへ行ってよく遊んでもらいました。実家へ帰られたり地方へ嫁がれた方も、時々連絡をもらったり、時には子供さんを連れて寄ってくださいます。懐かしくて嬉しいです。

また私は趣味で長年ビリヤードをやっています、昔、隣で夜に学生さんにビリヤードを教えていたこともあります。大谷大、京産大、立命館などいろいろな大学の人がおられましたね。

学生時代に来られていたお客さんで、昔の思い出のあの味が忘れられない、もう一度食べたいと言って、何十年か振りに訪ねて下さる方も結構おられます。その頃お気に入りだったカレーうどんなど、同じメニューを注文して下さって、喜んで帰っていかれます。こちらも大変嬉しく、学生街での商売ならではの喜びを味わえますよ。

一ありがとうございました。

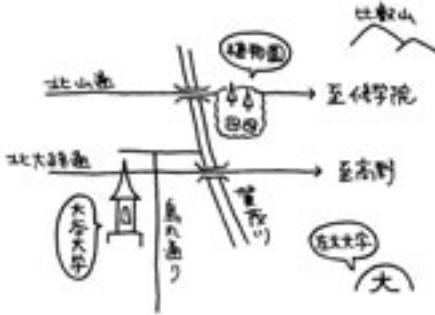


みなとやさんの外観

写真でふりかえる 大谷大学今昔

中賀茂橋と北大路橋

佐々木 令 信



現在、北大路橋は、五山の送り火に際しては、左大文字が見える絶好のスポットとして多くの人々が集う場となっている。また、五月の葵祭の路頭の儀において、下鴨神社から上賀茂神社へと向かう勅使行列が通過する場でもあり、優雅な王朝絵巻といえるパレードを鑑賞するスポットとしても多くの市民に親しまれている。しかし、この北大路橋が架けられる以前に、中賀茂橋という橋が鴨川に架けられていたことを知る人は少ないのではないだろうか。写真は、昭和九年（一九三四）九月二十一日の室戸台風によって流失した中賀茂橋の様子を写されているものである。室戸台風については翌日の『京都日出新聞』に、「暁過ぎから近畿地方を襲うた空の大魔王、猛大風は狂ひに狂ひ暴れに暴れ、募る狂暴さは午前八時半に至って、風速実に二十八メートル、京都付近を突いて当地未曾有の烈風となり、看板を吹き、電柱を倒し、屋根を剥ぎ、家を飛ばし、倒壊家は無数、死者、負傷者続出」と京都における甚大な被害を生々しく伝えており、中賀茂橋の流失もその一つであったことが知られる。その中賀茂橋は、明治三十五年（一九〇二）の京都市実地測量地図や、大正四年（一九一五）の京都近傍図といった地図では確認できない。では中賀茂橋は、いつできたものなのだろうか。

大正天皇の即位を記念した事業の一つに京都府立植物園の建設があった。その工事は大正六年（一九一七）の四月に始められ、植物園が開園したのは大正十二年（一九二三）十一月であった。開園に先立つ十月二十一日には、植物園を終点とする市電烏丸延長線が開通している。『京都日出新聞』では、今出川から北に市電が延長され、その停留所には、相国寺門前のへ上立売、上御霊前の（工業学校前）、鞍馬口の（鞍馬口）、新編入の（下総町）、大谷大学前の（上総町）、終点の（植物園前）があり、「現在では今出川で全部乗り換えだが、いずれ上総町の車庫が出来たら京都駅前から植物園前まで乗り換えなしの直通電車として大型ボギー車を運転することになる様だ」と伝えている。大谷大学の前に上総町の停留場があったのがこの時であったことがわかる。また、二十一日から開通をみた市電植物園前停留場より東へ中賀茂橋を渡りて左すれば、前庭にはアカシヤとキササゲとを四条に栽植したる並木道路帯ありて、自然の樹蔭に葉風も爽やかに、来園者の歩を軽からしむという記事がみえ、鴨川西岸に植物園前の停留場があり、そこから賀茂橋を渡って、植物園の前の並木道にいたる情景が描かれている。中賀茂橋は、現在の北大路橋の北側に、植物園の方向を向いて架けられたもので、恐らくは、大正六年以降の植物園建設にもなって架橋されたものと思われる。

しかし、大正末年から昭和初期にかけては、京都の新たな都市計画にもとづいて、京都周辺部の市街地化が目指され、外周線として北大路通、西大路通、東大路通、九条大路などが計画され、それに市電の第二期計画線が重ねられていくことになる。その北大路通が鴨川を渡る場所に北大路橋が架けられることになる。工事は昭和七年（一九三二）に着工され、昭和九年（一九三四）三月三十一日に北大路橋が完成した。ふたたび写真の中賀茂橋の流失の場面に目を移すならば、この室戸台風の時点で中賀茂橋のすぐ下流には、真新しい北大路橋が架けられていたことになる。中賀茂橋は、北大路近辺が市街化されていくなかで、十数年だけ存在した幻の橋なのである。

研究室だより

総合研究室から

4月から総合研究室内の東側南端に、新しく雑誌架が設置されます。それに伴い、現在、主に研究室内の外周に沿って配架されている各雑誌の移転作業を行っていきます。

4月から6月の研究室の開室は以下のとおりです。

なお、開室日や開室時間の変更は、ホームページ、学内掲示板に掲載します。確認してください。

4月											
										1	2
3	4	5	6	7	8	9					
10	11	12	13	14	15	16					
17	18	19	20	21	22	23					
24	25	26	27	28	29	30					

5月											
		1	2	3	4	5	6	7			
8	9	10	11	12	13	14					
15	16	17	18	19	20	21					
22	23	24	25	26	27	28					
29	30	31									

6月											
										*1	2 3 4
5	6	7	8	9	10	11					
12	13	14	15	16	17	18					
19	20	21	22	23	24	25					
26	27	28	29	30							

- は響流館の休館日。
- は、10時開室 17時30分閉室
- は、9時開室 19時30分閉室
- は、9時開室 18時00分閉室

* 6月1日は宗祖誕生会のため、式典終了後の開室となります。

学会だより

大谷学会
春季公開講演会を開催します。

日時 5月24日(火)13時から
会場 本学講堂
講師 同志社大学教授 森 孝一
本学教授 吉元信行

講演の題目等は、掲示、ポスターにてご確認ください。

大谷大学教育後援会 2005年度 父母兄弟懇談会開催予定一覧

名称	開催日	開催地	会場
静岡地区父母兄弟懇談会	6月18日(土)	静岡市	浮月楼
九州地区父母兄弟懇談会	7月8日(金)	大分市	大分センチュリーホテル
	7月9日(土)	福岡市	ホテルセンターザ博多
全国父母兄弟懇談会	10月1日(土)	京都市	大谷大学
中国地区父母兄弟懇談会	12月2日(金)	山口県小郡町	山口グランドホテル
	12月3日(土)	広島市	リーガロイヤルホテル広島

大谷中学校・高等学校からのお知らせ

2005年度の中学入試結果と高校入試志願状況をお知らせいたします。

中学入試結果

(S入試は1月22日に実施、A入試は1月23日に実施)

※募集人員120名

	S入試 (260点)		A入試 (500点)		合 計		
	男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子	
志願者数	54	42	155	102	209	144	
実受験者数	53	41	151	97	204	138	
合格者数	32	33	113	75	145	108	
実受験倍率	1.66	1.24	1.34	1.29	1.41	1.28	
合格最高点	172	201	438	454	—	—	
合 最 格 低 点	単願者	140		280		—	—
	両願者	120		250		—	—
入学者数	32	31	51	27	83	58	

中学入試総括 (2月14日現在での定着者数-141名)

今年度大谷中学の入試は、大阪府・京都府の私学入試解禁日の1月22日と23日の2日間で、S入試とA入試を実施しました。この2日間で大谷と競合する他私学も入試が実施されたため、志願者数は前年より減少しましたが、逆に定着者数は我々の予想より多く定着しました。(昨年は119名でした)、全教職員共に喜んでいきます。

高校入試志願状況 (入試は2月10日に実施)

※募集人員-300名 (内部生除く)

専 願	併 願	総 計
219名	1962名	2181名

参考 — 一昨年度 (2245名)
— 昨年度 (2250名)

高校入試分析

今年度は京都府と滋賀県で、中学3年生が約3000名ほど減少する状況のなかで、これだけの受験生が大谷高等学校を希望してくれたことは、我々教職員一同嬉しく思うと共に、受験生の期待に応えるべく、教育力の向上を目指して、日々研鑽努力しなければならないと思っています。

2005年度 一学期の学校見学会・オープン キャンパス学校説明会のお知らせ

5月27日(金)-学校見学会・相談会

5月28日(土)-学校見学会と

小学6年生対象クラブ体験デー

6月25日(土)-中学入試説明会 (午前)

高校入試説明会 (午後)

7月31日(日)-オープンキャンパス

中学は午前中、高校は午後実施

九州大谷短期大学からのお知らせ

□オープンキャンパス・入試相談会

2005年度のオープンキャンパス・入試相談会等を次の日程で行います。

◆オープンキャンパス

第1回 6/18(土)

第2回 7/16(土)

第3回 8/7(日)

第4回 8/19(金)

第5回 9/10(土)

12:00~	受付開始
13:00~13:30	全体説明 (学校概要・入試制度 etc.)
13:30~14:30	コース別模擬授業・説明
14:30~15:00	キャンパス・寮見学
15:00~15:30	個別相談・在学生とのフリートーク

個別相談コーナー設置

◆入試相談会

第1回 10/1(土)

第2回 12/3(土)

12:00~	受付開始
13:00~13:30	全体説明 (学校概要・入試制度 etc.)
13:30~14:00	キャンパス・寮見学
14:00~15:00	コース別個人説明・相談

◆キャンパス見学会 (大谷祭)

11/4(金) 臨時見学会

11/5(土) 臨時見学会

皆様のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ

九州大谷短期大学広報室 (TEL. 0942-53-9900)

学生相談室から



ある授業でワークシート「このころの取扱説明書」を受講生に作成してもらった。このワークは、自由に「このころの取扱説明書」の項目を簡潔書きする簡単なものである。このなかで一番多かったのは、「このころは壊れやすいので、取扱いには注意してください」「このころは傷つきやすいので、大切に取扱いください」などである。もし、主語をつけるとすれば、ほくやわたしとなるのだろう。受講生のワークシートの読み合わせを終えて、参加者同士が顔を見合わせて無言で「納得」する瞬間を味わった。つまり、自分のこのころは誰のこのころよりも壊れやすく、傷つきやすいと思っていたことに直面してしまったのである。みんなが一緒に、壊れやすく、傷つきやすいと思っていたことが、妙に不思議な体験だったようだ。また、いつも他者のこのころは丈夫そうに見えて、他者をうらやましく思っていることに

このころの取扱説明書

佐賀枝 夏文

学生相談室の開室について

場所	曜日	相談室	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	1 2	谷口奈青理	10時30分～16時00分
	火曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	水曜日	1	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時00分～16時00分
		2	佐賀枝夏文	10時30分～14時00分
	木曜日	1 2	讓 西賢 菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	金曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分

気づいたのである。自分のこのころを大切に扱うように、他者のこのころを大切に扱えばよいのであると思う。また、我慢して大丈夫そうにふるまうことも必要ないであろう。人間は他者を幸せにすることでしか、自分が幸せになれないことも真理である。

出版物紹介

- ◎『隋唐佛教文化』
礪波 護 著
韓 昇 編訳
上海古籍出版社 刊
(2004.11) 226頁



- ◎『清沢満之 その思想の軌跡』
神戸和磨 著
法蔵館 刊
(2005.3) 283頁



- ◎『日本列島重力アトラス
—西日本および中央日本—』
山本明彦・志知龍一 編
西田潤一 分担執筆
東京大学出版会 刊
(2004.11) 136頁

- ◎日本の名僧5
『浄土の聖者 空也』
伊藤唯真 編
名畑 崇・東館紹見 分担執筆
吉川弘文館 刊
(2005.1) 225頁

お詫び

前号の『大谷大学広報冬号』の中で誤りがありましたので、次のとおり訂正いたします。

- ◎ rJe Tsong kha pa'i lam rim chen mo'i lung khungs gsal byed nyi ma'i stod cha
(誤) Khang dkar tshul khriims skal bzang 著 白館戒雲 註
(正) Khang dkar tshul khriims skal bzang (白館戒雲) 著
- ◎ (誤) rGya gar gyi tshad ma rig pa'i Ha grub 'phel rim dang tshad ma rig pa'i lo rgyus
(正) rGya gar gyi tshad ma rig pa'i lta grub 'phel rim dang tshad ma rig pa'i lo rgyus
(誤) Khang dkar tshul khriims skal bzang 著 白館戒雲 註
(正) Khang dkar tshul khriims skal bzang (白館戒雲) 著

2005年度 開放セミナーのご案内

○続 人間開華の旅 - 『華嚴経』のこころ-

開講日およびテーマ

- 第1回 5月18日(水) 華開いて則ち仏を見る
- 第2回 5月25日(水) 一道より生死を出ず
- 第3回 6月8日(水) 心は工画師(くがし)の如し
- 第4回 6月15日(水) アーラヤ識の真如
- 第5回 6月29日(水) 宝王如来の性起の義
- 第6回 7月6日(水) 菩薩みな撰取せん

講師 鍵主 良敬(大谷大学名誉教授)

テキスト 『人間開華の旅-『華嚴経』のこころ-』(大谷大学開放セミナーシリーズ)

時間 17:50~19:20

受講料 7,500円(テキスト代、税込)

*テキストをお持ちの場合は6,000円(税込)

申込締切日 5月11日(水) *当日消印有効

○いろは書く子のあへなくも ちりぬるいのちぜひもなや

- 『菅原伝授手習鑑』の世界にあそぶ-

日程及びテーマ

- 第1回 5月12日(木) 浄瑠璃の展開 -時代物と世話物-
- 第2回 5月19日(木) 『菅原伝授手習鑑』の世界 -三つ子の兄弟の明暗と行末-
- 第3回 5月26日(木) 道真館 -筆法伝授・初段-
- 第4回 6月9日(木) 道明寺 -父娘の生別・二段目-
- 第5回 6月16日(木) 佐太村 -父子の死別・三段目-
- 第6回 6月23日(木) 寺子屋 -一首の野辺送・四段目-

講師 沙加戸 弘(大谷大学教授)

時間 17:50~19:20

受講料 6,000円(税込)

申込締切日 4月25日(月) *当日消印有効



○京の暦文化

日程及びテーマ

- 第1回 6月7日(火) やまと暦の発祥は京都梅小路
- 第2回 6月14日(火) 暦日の吉凶と平安貴族の生活
- 第3回 6月21日(火) 伝安倍晴明撰『篋篋内伝金烏玉兔集』と祇園牛頭天王
- 第4回 6月28日(火) 織田信長の入京と京暦改正要求
- 第5回 7月5日(火) 近松・西鶴の作品題材となった京の暦問屋
- 第6回 7月12日(火) 維新による京暦製作の終焉と京文化の太陽暦化
- 第7回 7月19日(火) 実習-旧暦による平成18年京暦を作ってみよう

講師 木場 明志(大谷大学教授)

時間 17:50~19:20

受講料 7,000円(税込)

申込締切日 5月31日(火) *当日消印有効

○唯識説を概観するー弥勒・無着・世親ー

日程及びテーマ

- 第1回 6月30日(木) 唯識説の歴史 (岩本 明美)
- 第2回 7月7日(木) 瑜伽行の實踐 (岩本 明美)
- 第3回 7月14日(木) アーラヤ識と三性説1 (小谷 信千代)
- 第4回 7月21日(木) アーラヤ識と三性説2 (小谷 信千代)
- 第5回 7月28日(木) 唯識説と極微説 (兵藤 一夫)
- 第6回 8月4日(木) 識転変説 (兵藤 一夫)

コーディネーター 小谷 信千代 (大谷大学教授)

講師 岩本 明美 (関西大学講師)

兵藤 一夫 (大谷大学教授)

時間 17:50~19:20

受講料 6,000円 (税込)

申込締切日 6月23日(木) *当日消印有効

2005年度 紫明講座のご案内

○霊場巡礼と宗教者ー西国巡礼の歴史と巡礼行者ー

日程およびテーマ

- 第1回 5月9日(月) 西国巡礼の歴史概観
- 第2回 5月16日(月) 西国巡礼と霊場寺院ー如意輪堂を例にしてー
- 第3回 5月23日(月) 西国巡礼行者の諸相

講師 豊島 修 (大谷大学教授)

時間 17:50~19:20

受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 4月25日(月) *当日消印有効

*備考 受講者の方を対象に、フィールドワークを実施いたします。詳細については、受講申込時にお知らせします。

○霊場巡礼と宗教者ー絵画で解く熊野比丘尼ー

日程及びテーマ

- 第1回 6月6日(月) 絵解・地獄絵と比丘尼たち
- 第2回 6月13日(月) 布教・勸進絵と比丘尼たち
- 第3回 6月20日(月) 歌舞伎・浮世絵と比丘尼たち

講師 根井 浄 (龍谷大学教授・大谷大学非常勤講師)

監修 豊島 修 (大谷大学教授)

時間 17:50~19:20

受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 5月30日(月) *当日消印有効



○こころの取扱い説明書

日程及びテーマ

- 第1回 5月12日(木) 人生の物語
- 第2回 5月19日(木) こころの形
- 第3回 5月26日(木) 喪失体験と甦り

講師 佐賀枝 夏文 (大谷大学教授)

時間 14:30~16:00

受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 4月25日(月) *当日消印有効

○モンゴル歴史探索・入門編 ―チンギスハンの墓はどこに？―

日程及びテーマ

第1回 7月1日(金) モンゴルへの招待―遊牧文化の歴史の変遷―

第2回 7月8日(金) モンゴルの宗教―チンギスハンの即位と死を中心に―

第3回 7月15日(金) チンギスハンの墓はどこに？

講師 松川 節 (大谷大学助教授)

時間 17:50～19:20

受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 6月24日(金) *当日消印有効

○現代のフランス文化を動詞から考える ―「語る」「愛する」「欲望する」―

日程及びテーマ

第1回 7月4日(月) 「語る」(「言葉の国」のアリスたち)

第2回 7月11日(月) 「愛する」(映画、シャンソン、文学作品を中心に)

第3回 7月25日(月) 「欲望する」(ラカンの精神分析、トリュフォーの映画を中心に)

講師 番場 寛 (大谷大学短期大学部助教授)

時間 17:50～19:20

受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 6月27日(月) *当日消印有効

○「愚禿釈親鸞」の名告りの意義

日程及びテーマ

第1回 7月13日(水) 親鸞の名告りの時期の諸論

第2回 7月20日(水) 『観経』から『大経』へ

第3回 7月27日(水) 誓願一仏乗

講師 延塚 知道 (大谷大学教授)

時間 17:50～19:20

受講料 3,000円 (税込)

申込締切日 7月6日(水) *当日消印有効

2005年度 博物館セミナー

○はじめて学ぶ古文書読み解き講座

日程

4月23日(土)、5月7日(土)、5月21日(土)

6月4日(土)、6月18日(土)、7月2日(土)

講師 平野 寿則 (大谷大学講師 博物館学芸員)

時間 1 講時 10:00～11:00

2 講時 11:10～12:10

受講料 12,000円 (税込)

申込締切日 4月15日(金) *当日消印有効



詳細を記したパンフレットをご希望の方は、下記までお問い合わせください。ハガキ、FAX、Eメールにてお申込の際には、住所、氏名(フリガナ)、電話番号を明記してください。

◆お問い合わせ先◆

教育研究支援課T係

TEL: 075-411-8161/FAX: 075-411-8162/E-mail: opensemi@sec.otani.ac.jp

*講座名・受講料等は変更になる場合があります。

2005年度 入学試験結果

一般入試 [第1期] 結果

●文学部 (3教科型)

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真宗学科	16	70 (7)	69 (7)	37 (4)	1.9	328	231
	仏教学科	14	29 (6)	29 (6)	22 (6)	1.3	336	201
	哲学科	14	67 (16)	66 (15)	50 (13)	1.3	345	243
	社会学科	35	285 (105)	278 (103)	141 (68)	2.0	342	272
	史学科	20	184 (55)	178 (53)	65 (28)	2.7	360	297
	文学科	14	143 (87)	141 (87)	57 (39)	2.5	351	292
	国際文化学科	20	121 (64)	118 (62)	102 (57)	1.2	358	240
	人文情報学科	20	90 (30)	89 (30)	66 (26)	1.3	345	230
	合 計	153	989 (370)	968 (363)	540 (241)	—	—	—

●文学部 (2教科型) ・短期大学部

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真宗学科	16	62 (12)	61 (11)	33 (10)	1.8	163	95
	仏教学科	14	35 (5)	33 (5)	31 (5)	1.1	166	72
	哲学科	14	66 (16)	61 (14)	42 (12)	1.5	172	115
	社会学科	25	260 (139)	252 (137)	121 (75)	2.1	174	120
	史学科	8	60 (26)	56 (24)	24 (16)	2.3	170	131
	文学科	14	139 (74)	137 (72)	54 (42)	2.5	165	132
	国際文化学科	20	175 (102)	166 (97)	104 (67)	1.6	166	120
	人文情報学科	20	119 (31)	114 (29)	64 (25)	1.8	158	104
	合 計	131	916 (405)	880 (389)	473 (252)	—	—	—
	短期大学部	仏教科	10	35 (2)	34 (2)	32 (2)	1.1	173
[第2志望]		—	—	—	2 (1)	—	—	56
文化学科		30	65 (56)	62 (54)	61 (53)	1.0	161	82
[第2志望]		—	—	—	18 (11)	—	—	90
幼児教育科		30	186 (145)	176 (136)	65 (56)	2.7	175	151
合 計		70	286 (203)	272 (192)	158 (111)	—	—	—

[注1] () 内数字は女子内数。

[注2] 文学部2教科型と短期大学部は200点満点・文学部3教科型は400点満点。

一般入試 [第2期] 結果

学部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	真宗学科	4	14 (1)	13 (1)	5 (0)	2.6	86	65
	[第2志望]	—	—	—	4 (2)	—	—	70
	仏教学科	4	8 (1)	7 (1)	6 (1)	1.2	72	44
	[第2志望]	—	—	—	31 (12)	—	—	63
	哲学科	4	22 (4)	21 (3)	18 (3)	1.2	79	62
	社会学科	8	112 (40)	107 (37)	26 (12)	4.1	84	73
	史学科	4	61 (23)	60 (22)	7 (5)	8.6	79	75
	文学科	4	67 (39)	63 (36)	8 (7)	7.9	81	78
	国際文化学科	5	37 (14)	36 (14)	8 (5)	4.5	93	74
	人文情報学科	5	34 (4)	34 (4)	10 (2)	3.4	81	70
合 計	38	355 (126)	341 (118)	88 (35)	—	—	—	
短期大学部	仏教科	5	13 (2)	11 (2)	11 (2)	1.0	97	51
	[第2志望]	—	—	—	0 (0)	—	—	—
	文化学科	10	24 (15)	20 (12)	20 (12)	1.0	93	51
	[第2志望]	—	—	—	0 (0)	—	—	—
合 計	15	37 (17)	31 (14)	31 (14)	—	—	—	

[注1] () 内数字は女子内数。

[注2] 得点は外国語・国語のいずれか1教科を試験場で選択。100点満点。

文学部第3学年一般編入学試験結果

学 科	専門分野	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
真宗	真宗学	本学	6 (1)	6 (1)	6 (1)	1.0
		他大学	4 (0)	4 (0)	4 (0)	
仏教	仏教学	本学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0
		他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
哲	西洋哲学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	倫理学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	宗教学	本学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	教育学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
社会	現代社会学	本学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—
		他大学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	文化人類学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
史	国史学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	日本仏教史学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	東洋史学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
東洋仏教史学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
	他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
文	国文学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	
	中国文学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
英文学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0	
	他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)		
ドイツ文学	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
	他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
国際文化	国際文化学	本学	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
合 計		本学	10 (2)	9 (2)	8 (2)	—
		他大学	10 (2)	10 (2)	8 (2)	
		計	20 (4)	19 (4)	16 (4)	

[注] () 内数字は女子内数。

【合格者 (他大学出身者)】

各1名 京都教育大学・長崎大学・新潟大学・関西外国語大学短期大学部
京都外国語短期大学・多摩大学・花園大学・佛教大学

大学院春季試験 (博士後期・修士) 結果

課程	専 攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
博士後期課程	真宗学	3	本学	10 (1)	10 (1)	4 (0)	2.5
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏教学	3	本学	4 (2)	4 (2)	3 (1)	1.3
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	哲学	3	本学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	社会学	3	本学	1 (0)	1 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏教文化	3	本学	5 (1)	5 (1)	4 (1)	1.2
			他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
国際文化	3	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
合 計	18	本学	21 (4)	21 (4)	11 (2)	—	
		他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
			計	22 (4)	22 (4)	12 (2)	
修士課程	真宗学	定員(20)の50%程度	本学	8 (1)	8 (1)	2 (1)	2.0
			他大学	6 (0)	6 (0)	5 (0)	
	仏教学	定員(20)の50%程度	本学	6 (3)	6 (3)	5 (2)	1.2
			他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	哲学	定員(10)の50%程度	本学	6 (2)	5 (2)	4 (1)	1.2
			他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	社会学	定員(10)の50%程度	本学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	仏教文化	定員(20)の50%程度	本学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.5
			他大学	2 (0)	2 (0)	1 (0)	
国際文化	定員(10)の50%程度	本学	2 (0)	2 (0)	1 (0)	3.0	
		他大学	1 (0)	1 (0)	0 (0)		
合 計	定員(90)の50%程度	本学	24 (6)	23 (6)	14 (4)	—	
		他大学	11 (2)	11 (2)	8 (2)		
			計	35 (8)	34 (8)	22 (6)	

[注] () 内数字は女子内数。

【合格者 (他大学出身者)】

◆ [博士後期課程]

1名 龍谷大学大学院

◆ [修士課程]

各1名 東京大学・富山大学・新潟大学・京都造形芸術大学大学院
聖和大学・同朋大学・日本大学・龍谷大学

広報冬号でお知らせいたしました2005年度公募制推薦入試結果のうち、下記の人数に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

記
A方式 史学科 志願者数
誤：73 (35) 正：73 (36)

《教員研究室一覧表》

博 綜 館		
階	部屋番号	教員名
2F	211	佐藤 義寛
	212	鈴木 繁一
	213	乾 源俊
	214	若槻 俊秀
	215	友田 孝興
	216	石橋 義秀
	217	沙加戸 弘
	218	村瀬 順子
	219	村井 英雄
	220	禿 憲仁
	221	古川 哲史
3F	311	鄭 早苗
	312	草野 顕之
	313	皇 紀夫
	314	加藤 尚子
	315	豊島 修
	316	長谷 正當
	317	田辺 繁治
	318	桂華 淳祥
	319	木場 明志
	320	佐々木 令信
	321	大和 正克
322	西田 潤一	
323	中桐 伸吾	
324	大内 文雄	
325	中森 一郎	
326	礪波 護	
327	並木 治	
4F	411	松村 尚子
	412	一郷 正道
	413	荒牧 典俊
	414	高井 康弘
	415	門脇 健
	416	蜂屋 良彦
	417	渡辺 啓真
	418	池上 哲司
	419	朴 一功
	420	滝口 直子
	421	鈴木 幹雄
441	寺林 脩	
442	佐賀枝 夏文	
5F	511	宮下 晴輝
	512	安富 信哉
	513	兵藤 一夫
	514	村上 學
	515	延塚 知道
	516	小谷 信千代
	517	木村 宣彰
	518	吉元 信行
	519	白館 戒雲
	520	福田 洋一
	521	D. ヴェステル
	522	M. A. ベーテ
	523	A. デッケ=コルニル
	541	小野 蓮明
	542	藤嶽 明信
543	R. F. コーズ	
544	泉 恵機	
545	織田 頭祐	

間 思 館		
階	部屋番号	教員名
1F	10	藤枝 真
	11	山野 俊郎
	12	宮崎 健司
	13	安井 喜行
	14	加来 雄之
	15	村山 保史
	16	村松 法文
	17	大城 那義
	18	一楽 真
	19	木越 康
	20	天野 勝重
2F	21	杉山 正治
	22	加治 洋一
	23	柴田 みゆき
	24	喜多 恵美子
	25	水島 見一
	26	三宅 伸一郎
	27	赤瀬 知子
	28	田村 晃徳
	29	李 青
	30	片岡 裕
	31	番場 寛
32	徳岡 博巳	
3F	40	井上 摩紀
	41	阿部 利洋
	42	山内 清郎
	43	新美 秀和
	44	藤堂 貴弘
	45	吉田 孝夫
	46	関口 敏美
	47	渡部 洋
	48	矢野 のり子
	49	廣瀬 幸市
	50	谷口 奈青理
51	山本 和彦	
52	采翠 晃	
4F	60	箕浦 暁雄
	61	東館 紹見
	62	平野 寿則
	63	三木 彰円
	64	井上 尚実
	65	浅若 裕彦
	66	芦津 かおり
	67	山下 憲昭
	68	浦山 あゆみ
	69	浅見 直一郎
	70	志藤 修史
71	山本 貴子	
72	松川 節	

2 号 館		
階	部屋番号	教員名
1F	101	一色 順心
	102	中川 皓三郎
	103	藤本 芳則
	104	藤田 昭彦
	105	築山 修道
3F	106	豊住 征子
BF	107	岡崎 紀子

「大谷大学広報05-夏」発行のお知らせ

「大谷大学広報05-夏」の発行を7月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

- ①博綜館ピロティ（博綜館入口横） ②学内食堂 ③各研究室
④至誠館（学生課カウンター前） ⑤1号館1階 ⑥2号館1階

また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。
http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html

最近、イラク国内に米英国軍が設置した収容所で、被収容者に対して人間の尊厳を全く無視した各種の辱めや虐待が行われていた事実が発覚し、新聞やテレビでたびたび報道されている。反米感情が高まるのを恐れた軍当局は、これを一部の個人の犯罪行為として軍事法廷で裁こうとしている。はたして特定の個人の犯罪行為として彼に責任を押し付けるだけでよいのだろうか。むしろ、ある状況や条件がそろえば、誰もがこのような行為に走りやすくなるのではないだろうか。

この問題を考えようとするときに思い浮かぶいくつかの社会心理学上の重要な実験的研究がある。そのひとつは、30数年前、

米国のスタンフォード大学のジンバルドー教授が大学の中に模擬刑務所を作って行ったものである。米国ではそれ以前から刑務所での看守による囚人への暴力的行為がしばしば報告されていた。ジンバルドーは、これが一部の看守のサディスティックな性格によるものなのか、それとも厳格な権力構造の中に個人が組み込まれ一定の権力を持つことによって生じる一般的行動傾向なのかを見極めるために、この実験を行ったのである。この実験では、精神的に安定していると思われる人々が、この模擬刑務所に自発的に看守役あるいは囚人役として入ることを求められた。ここでは、サディスティックな性格をもった人々が

看守に採用されているのではなく、ごく普通の常識ある個人が採用されているのである。また両者間には敵対関係は全く無い。それにもかかわらず入所後に残忍な暴力行為が発生するとすれば、それは、刑務所の持つ強力な権力構造とそれがもたらす硬直した支配-服従関係に由来するものと考えざるをえない。

ここで囚人役に割り当てられた人々は、囚人服を着せられて身体を消毒され最低限の生活用品を与えられた。細かな日常的動作にも看守役の許可が必要とされ、囚人には数多くのルールを厳格に守るように求められた。この刑務所設置の数日後から、看守の攻撃的姿勢とそれに対する囚人の反抗が発生し、エス

話題の広場 SQUARE

戦争と心理

蜂屋 良彦

カレートしていったので、その鎮圧のために消火器の使用など手荒な手段も用いられた。一方で看守は、しばしば囚人同士を互いに敵対させたりいじめ合わせたりするような陰湿な行動もとるようになり、囚人のなかには精神的錯乱に陥るものが現れた。最初2週間の予定で始まった実験も1週間で中止せざるを得なかった。実験の進行につれ顕著になったことは、囚人が日ごとに服従的で卑屈になっていったこと、例えば前屈みの姿勢で視線を床に落としながら歩くようになっていったこと、これに対し、それを見た看守は逆に胸をはり権力の厳格な行使をますます楽しむようになっていったことである。これらのことは、ジンバルドーの予想をはるかに上回るものであった。

善良なごく普通の個人であっても、看守としての適切な厳し

い職業訓練を受けないままに、強力な権力構造の中に身を置き、弱者に権力を行使出来る立場に立ち続けていると、いつのまにか弱者の些細な反抗に対しても通常では想像もできないような攻撃的行動に走ってしまう。攻撃の結果弱者の示す卑屈で惨めな姿を目の当たりにすると、権力者は、弱者が本来重い罰を受けるに相当する愚かな人間なのであり攻撃されて当然なのだというように、原因と結果とを逆転して受け止め、自分の行為を正当化し、ますます攻撃的になってしまう。平常時においてさえこうだから、戦時下においてはわれわれの想像を越えたことが起こりうる。とくに戦場における収容所においては、もともと両者の間には根深い相互不信と憎悪が潜んでいるのであるが、これに加えて、権力者側も常に身の危険や生活上の強い欲求不



絵 内山智廣

満状態に置かれているので、そこから逃避して一時的に主観的幸福感を得ようとして、一番弱いものをスケープ・ゴードとして槍玉に挙げて鬱憤を晴らすことが顕著になる。これは憎しみの相乗作用と考えられる。さらに悪いことには、自分は上位者からの命令を忠実に実行したままでであると自己の行為の正当性を主張し、責任回避と自己弁護を繰り返すために、罪の意識が発生しにくいのである。

多くの歴史的事実や実証的研究から、ごく普通の良識ある人間が、特定の状況下では思いもよらぬ残虐な行為に走ることを知るにつけ、「さるべき業縁のもよおせば、いかなるふるまいもすべし」という親鸞の言葉が深く重く心に響いてくる。

(はちや よしひこ
教授 社会心理学・集団力学)